

鶴岡で働き暮らし体感

大学生対象 長期インターン始まる



参加者が自己紹介などをした開会式
＝鶴岡市・鶴岡商工会議所

大学生を対象にした長期
インターンシップ「D-EUREKA」の開会式が18日、鶴岡市の鶴岡商工会議所で開かれた。県内外の学生9人が約1ヶ月間にわたり企業で働きながら鶴岡の暮らしを体感する。

市と鶴岡商工会議所が事

務局を務める鶴岡地区雇用対策協議会(佐藤祐司会長)が初めて開催した。学生たちは来月12日まで商品の魅力を交流サイト(SNS)で発信する広報の仕事や、観光誘客のための企画などに取り組む。この日は東京や愛知、広島の各県などから参加した男女9人が自己紹介した後、協力企業でシルク製品を企画・販売する「鶴岡シリク」、老舗菓子店「木村屋」、福祉用具を販売・レンタルする「タマツ」の3社の社長らが激励した。歴大(広島)3年の三吉泉さん(21)は「地域密着型のインターンは地元民と深くつながれる。住んでみないと分からぬ魅力を見つけて」と話した。

(棚井さとみ)